

結果の要約

1 職業

宮城県の15歳以上就業者数(1,107,773人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が304,574人(15歳以上就業者数の27.5%)と最も多く、次いで「事務従事者」が205,938人(同18.6%)、「販売従事者」が171,913人(同15.5%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が11,894人(12.5%)増、「保安職業従事者」が1,123人(5.3%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が4,133人(12.0%)減、「生産工程・労務作業」が25,445人(7.7%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が34.0%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が31.6%、「販売・サービス関係職業」が27.2%、「農林漁業関係職業」が6.1%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.2ポイント、0.2ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.3ポイント、0.3ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.7時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が49.0時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が44.9時間、「管理的職業従事者」が44.3時間、「販売従事者」が43.8時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が0.1時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が2.1時間減、「販売従事者」が1.7時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が248,561組(夫婦数575,848組の43.2%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が179,974組(同31.3%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が26,904組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の10.8%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業」、妻が「事務従事者」である夫婦が19,636組(同7.9%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は256,320世帯(住宅に住む一般世帯847,429世帯の30.2%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は591,109世帯(同69.8%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が182,039世帯(同21.5%)、「女性のみ」の世帯が122,467世帯(同14.5%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が47,846世帯(同5.6%)となっている。

図1 宮城県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

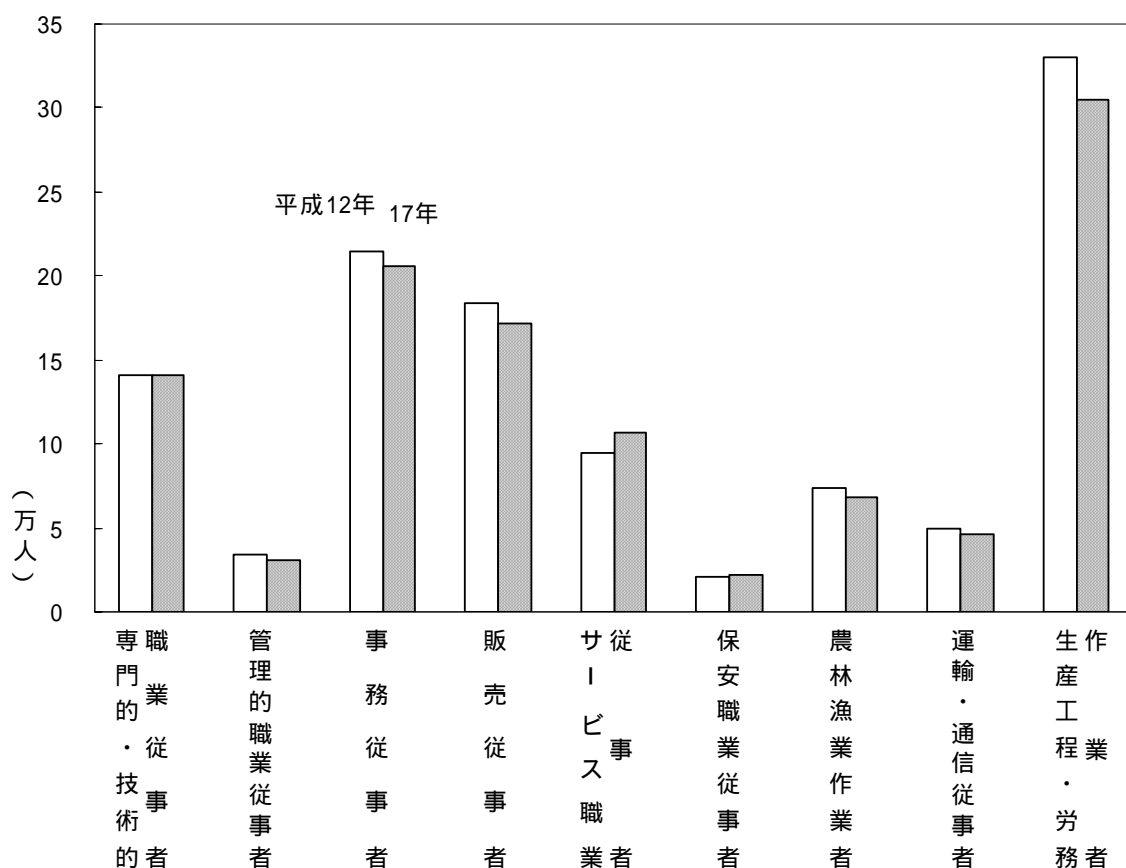


図2 宮城県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

